



寿司握り体験を楽しむ鹿児島ツアー参加者たち



現地のイベントで鹿児島をPR



鹿児島ツアーでは野菜の収穫体験も好評



鹿児島で暮らす外国人や  
海外で活躍する鹿児島ゆかりの方々に  
鹿児島の魅力や可能性について  
語っていただきます

人口密度の高いシンガポールでは、鹿児島の雄大な自然に魅力を感じる方がとても多いです。また、農地が少なくほとんどの食材を輸入しているため、新鮮で豊富な鹿児島の食材は大変魅力的で

心をぜひ世界に広めてください。

現在、シンガポールに帰国して、ASEANディレクターとして東南アジアで鹿児島をPRしています。現地バイヤーへの食材紹介や産地視察の同行、観光ツアーやセミナーの開催など、活動はさまざまです。

インターネットが普及して情報が大量にあふれている今、鹿児島の魅力を広めるには、斬新で見る人にインパクトを与える宣伝手法が必要だと思えます。知名度を上げて鹿児島が東南アジアで人気の旅行先となるよう、今後も頑張ります。県民の皆さんも、この「わっぜ」素敵な場所を誇りに思ってください、その温かいおもてなしの

幼い頃から日本のポップカルチャーが大好きで、大学では日本研究を専攻しました。「日本の良さを海外に広めたい」という思いから、2010年に国際交流員として鹿児島に赴任し、6年間勤務しました。

す。ツアー参加者からは「採れたての食材を使った料理が良心的な価格で美味しく味わえた」「桜島、丸池湧水、蒲生の大クス、薩摩金山蔵、砂むし温泉、料理などの魅力的な素材がたくさんあって最高」といった声が上がっています。

## 自然・食・おもてなし 魅力いっぱい の 鹿児島



### シンガポール

県ASEANディレクター  
シュ・ユエンシヤオ・ケナードさん

シンガポールの人口は鹿児島の3.5倍の約560万人。奄美大島とほぼ同じ大きさの国土に多民族が暮らす多文化共生社会で、東南アジアの金融・物流・情報の拠点として発展を続けています。

観光地としても人気が高く、年間で人口の約3.3倍もの外国人観光客が訪れます。



有名な観光名所マリーオン公園

わっぜ：鹿児島の方言で「もの凄く」という意味